

週 報

日本キリスト教団

みなみやま

南山教会

<年間聖句>

「あなたの未来には希望
があると主は言われる」

(エレミヤ書31章17節)

<年主題>

未来の希望を信じて歩む



Since 1947. 8. 1. 創立78周年

〒470-0111

愛知県日進市米野木町南山983-16

(愛知牧場内)

牧 師 村山盛芳

伝道師 大塚 勁

信徒伝道師 大塚 棕

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005

教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp

HP www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/

先週の説教から

「視点を変える」

ローマの信徒への手紙 8章18節～25節

今日の聖書箇所は、「将来の栄光」、つまり神の約束によって将来、被造物には救いがもたらされる、ということが示されています。ここでのパウロの視点は、現在と将来について考えた時に、救いの完成、被造物が救われる、贖われる将来を確信し、その将来から、現在を逆に見ているのです。

いつの日か、キリスト者は、再臨したキリストの審判によって救われるという確信を持っていて、救われるという将来の現実から、現在を見ることによって、試練や苦難に、積極的な意味を見出すことができるのです。

アサヒスーパードライというビールを世に送り出した人は、樋口廣太郎という人で、カトリックの信者です。樋口さんの本の中に、請求書の祈りから、領収書の祈りへという話があります。樋口さんは、神に祈る時に、「～してください」「～をください」というお願いの祈りを一度もしたことがないそうです。神の約束を確信し、ただ感謝の祈りをしたそうです。いわゆる「請求書」の祈りではなく、「領収書」の祈りです。樋口さんがアサヒビールに来た時、市場でのシェアは1ケタで、会社は潰れる寸前でした。その時、彼は「神さま、どうか私をライオンにしてください。なぜなら、キリンを食い殺したいからです」とは祈りませんでした。次のように祈ったそうです。「神さま、シェアが一番になりました。これで従業員もその家族も喜び、またそれを飲んでくれる人も喜んでくれます。ありがとうございます」と「領収書」の祈りをし続けたというのです。

領収書の祈りは、イエスもされています。死んだラザロをよみがえらせた時の祈りです。イエスは墓の前に立ち、「父よ、わたしの願いを聞き入れてくださって感謝します」(ヨハネによる福音書11章41節)。願い事が本当にかなう前に感謝しています。私たちの信仰生活は感謝する祈りが大切です。神の約束、神の希望に生きる者となりましょう。

(村山盛芳)

110114・火・1回

午後10時開始
21:15～

副都心副都心 | 田中

前 奏

頌 栄 119 (栄光の歌)

主の祈り 九三 一五 一

交響楽 10月11日～11月11日 (11月11日)

聖 書 12:1-12 (使徒の書) 11月11日

三三三～五五五 (新約11:11)

讃美歌 四四四 (神は私を救うお方)

祈 祷 同前

説 教 「私たちが救われるため」

祈 祷 村山盛芳牧師

会堂の礼拝のための祈り

讃美歌 五五五 (救いの神)

献 金 六五 一

頌 栄 117 (父よ、神の国)

祝 祷

後 奏

… 報 知 …

会堂の礼拝QRコード
QRコードをダウンロード

